

穴も掘れるキャリアウーマンになりたい!

(研修に参加した大学生の言葉から)

8月25日から9月13日にかけて、マレーシアで現地研修が実施されました。本会はこの研修に参加した10名による報告会です。沖縄の高校教諭・神村智子さんは、現地研修で環境保全活動を実際に体験し、それを生徒たちに伝えたいと参加。報告会ではどのように授業で活かしているか具体的に報告。聴講した関係者の間からは、研修成果が早々と活かされていることに賞賛の声が上がりました。また、大学生で海外研修に参加した小林芽依さんは、将来は環境分野で「穴の掘れる(汗も流す)キャリアウーマンを目指す」と挨拶し、ぜひ頑張ってくださいという言葉をかけられていました。

■海外派遣研修(マレーシア)事後報告会



研修者全員が発表する事後報告会

2012年10月27日(土) 13:00~17:00

コンファレンススクエア エムプラス(東京・丸の内)

企画運営:(社)日本マレーシア協会

参加者:約30名

事後報告会概要

- 研修内容の報告(新井卓治日本マレーシア協会専務理事)
- 研修内容の報告と質疑応答(各自15分間)
- 感想と評価(富岡丈朗 日本大学国際関係学部准教授他)
- 参加者のフリーディスカッション

*詳しい内容はホームページにアップされている

「海外派遣研修報告書」をご覧ください。過去のものも参照できます。



現地研修で得たこと、感じたことを熱く語る研修生



生物多様性分科会でコメントを述べる久保田 学アドバイザー

単なる報告でなく皆が議論できる問題提起を!

(アドバイザーの言葉から)

地球環境基金から3年間の一般助成を受けている団体が、2年目までの活動状況と3年目に向けての目標と抱負を発表する報告会。講演会と分科会の2部構成で、メインとなるのはもちろん分科会。参加した42団体が6分野に分かれ、それぞれが活動内容を報告。各分科会では環境保全活動に詳しいアドバイザーが各報告を聞いた後、3年目の活動に向けた具体的なアドバイスをを行いました。また、報告を傍聴する他団体や一般参加者からも積極的な質問や提案があり、単なる活動報告会ではなく活動ノウハウそのものを互いに伝え合う場になる等、熱気の高まった2日間でした。

■地球環境基金助成団体活動報告会

2012年10月13日(土) 13:00~18:40 / 14日(日) 9:00~11:35

サンシャインシティ コンファレンスルーム(東京・池袋)

参加者:約150名

助成団体報告会概要

- 講演会「リオ+20からの提言~持続可能な社会へ向けて~」
廣野良吉成蹊大学名誉教授
- 活動事例発表

- ①(特非)エコ・リーグ「東アジアの青年環境活動支援を目的とした日本の青年人材育成事業」
- ②(特非)オオタカ保護基金「サシバと共生する里山づくり」
- ③(特非)気候ネットワーク「地球温暖化防止のための国際合意と国内対策促進のリンクプロジェクト」

- 分科会(生物多様性保全、国際環境協力、循環型社会形成、総合環境教育、地球温暖化防止、総合環境保全活動の6分野で実施)



30名近くが参加した国際環境協力の分科会

開催された研修講座から
地球環境基金では振興事業の1つとして、環境保全活動に取り組みNGO・NPOを対象に様々な研修講座を主催しています。本号では昨年10、11月に実施された講座の中からその一部をご紹介します。



参加者同士が話し合う。これが協働の第一歩です。

(ファシリテーターの言葉から)

社会の関心が高い「エネルギー」問題に関する講座。初日は5つの講演とワークショップ、2日目は3つの講演とワークショップで構成された内容の濃い講座。こうした講座は、ともすれば聞くだけで精一杯になりがちですが、熟練されたファシリテーター(坂本文武立教大准教授)により、講演内容と参加者の感想が有機的に整理され、一体感の持てる講座となりました。例えば、参加者同士が小グループに分かれ、聞いたばかりのことをそれぞれ立場から話し合い振り返る時間が用意される等、参加者も能動的に関われる工夫がされていました。

■環境保全戦略講座(重点分野・環境とエネルギー)



講演終了後の少人数によるグループワーク

持続可能なエネルギー社会の構築に向けた

NGO・NPOの戦略/協働/ネットワークの構築・強化

2012年11月10日(土) 13:00~19:00 / 11日(日) 10:30~18:00

ハロー貸会議室(東京・水道橋)

企画運営:(特非)「環境・持続社会」研究センター(JACSES)

参加者:約30名

講師陣:土居健太郎(環境省地球環境局低炭素社会推進室長)

山下紀明(環境エネルギー政策研究所主任研究員)

足立治郎(JACSES事務局長)

山田太雲(オックスファムジャパン・アドボカシーマネージャー)

田辺有輝(JACSESプログラムコーディネーター)

中口毅博(環境自治体会議環境政策研究所所長)

山口勝洋(サステナジー株式会社代表取締役)

坂本文武(立教大准教授)



研修講座をリードするファシリテーターの坂本文武氏



「気候変動をめぐる国際交渉の概要と最新動向」と題して講演する高村ゆかり氏

皆さんの積極的な活躍に期待したい。

(高村氏講演の結びの言葉から)

国際交渉の現場で活躍している専門家を招いての実践的な講座。当初、定員20名で募集しましたが、参加希望者が30名を超えたため急遽定員を増やして開催しました。参加者のほとんどは関東圏からでしたが、関西からも4名、中にはインドネシアから参加された方もいました。初日は高村ゆかり氏(名古屋大学大学院教授)、大木浩氏(元COP3議長・元環境大臣)等4氏による講演と報告、2日目は2氏による報告の後、ワークショップ「COP18に向けて。提言を作ってみよう」が行われ、国際会議におけるNGOの役割や国際合意の実現に貢献する方法を実践的に学びました。

■環境保全戦略講座(地球温暖化防止分野)

地球温暖化交渉で活躍する人材養成・ネットワークづくり

2012年10月27日(土) 10:30~17:00 / 28日(日) 10:00~17:00

日本キリスト教会館(東京・西早稲田)

企画運営:(特非)気候ネットワーク

参加者:30名

講師陣:高村ゆかり(名古屋大学大学院教授)

平田仁子(気候ネットワーク・CAN International理事)

大木 浩(元COP3議長・元環境大臣)

山岸尚之(WWFジャパン 気候変動プログラムリーダー)

小島敏郎(青山学院大学教授・元環境省地球環境審議官)

日比野敏陽(京都新聞記者)



講演者に鋭い質問をする参加者

地球環境基金では、平成25年度も引き続き研修講座を実施する予定です。講師陣は環境保全活動の様々な分野で活躍されている方で、それぞれが聞き逃さない充実した内容となっています。

平成25年度の研修講座受講申込は、本年度は「海外派遣研修」は5月連休明けから、また「他の講座」は9月頃に地球環境基金のホームページにて告知する予定です。ご期待ください。